

教 育 民 生 常 任 委 員 会 報 告 書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和3年7月15日(木) 午前9時30分 ～ 午前12時			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他()			
出 席 者 数	委員 5名のうち出席者 5名			
出 席 委 員	委 員 長	古 谷 幹 夫	委 員	堀 本 伸 一
	副委員長	武 田 秀 義		
欠 席 委 員	委 員	田 邊 哲 夫	委 員	水 間 淳 一
説 明 者	政 策 監	大 元 学	文化的施設 整備推進室	室 長 大河原信子
	企 画 課	主 任 河原一郎		主 査 西尾洋亮
傍 聴 者				
付 議 事 件	1. 文化的施設整備事業について			
	2. その他			
審 査 ・ 調 査	1. 文化的施設整備事業について			
	文化的施設(仮称)整備推進事業「意見公募手続」説明料…令和3年6月14日作成Ver3を元に大元政策監、西尾主査、大河原室長から説明を受けた。			
	○意見公募の状況(西尾主査より)			
	→6月14日から7月30日の期間で実施。現在3件との報告			
	・町職員説明会の状況を問う(武田委員)			
	→職員研修も兼ね校区毎の人口分析結果も提示(大元政策監)			
	・反対嘆願書を出された方々への対応は(委員長)			
	→代表者から声かけをしてもらい対応したい(大元政策監)			
	○サービス計画の概要について及び先進県事例について(大河原室長よりプロジェクターを使って説明を受けた)			
	それを受けて委員から出された主だった意見			
	・これだけの規模の施設が本当に必要なものか見直しが必要。行政と町民の考え方は違う。人口動態に見合った規模とすべきだ。施設規模を縮小しても果たす役割は可能と考える。(堀本委員)			
	・「16億円もかける施設が今本当に必要か」というのが、反対嘆願書に署名した人の共通の思いだ。もっと住民の理解を得て進めないとサービス計画も実践できていくか不安だ。(武田委員)			

	・図書館、美術館を必要とする町民がどのくらいいるかをしっかり把握し、四万十町の実態に合った施設でなければならない。この事業は四万十町にとって将来を賭けた大きな事業。もう少し時間をかけ、自分たちにとって必要な施設であるという意識の醸成が必要。(堀本委員)			
	2. その他			
	特になし			
	以上12時に閉会する。			
	反対意見			
	報告日	令和3年9月7日(火)	委員長署名	古谷 幹 